

平成 30 年度 アセンブリⅡ プロジェクト申請書

プロジェクト	囲碁入門指導－方法の検討と実践－
主な活動場所	<input checked="" type="checkbox"/> 学内 <input type="checkbox"/> 病院内 <input type="checkbox"/> 学外
担当教員	[所属・氏名] 医療科学部・医療経営情報学科 堀場文彰、臨床工学科 星野弘喜
内 容	[プロジェクトの概要] アセンブリⅠ 囲碁班の活動において、囲碁入門者に対する指導を行う。それに伴う準備・検討により協調性を身につけるとともに、日本古来の文化を理解する。
	[具体的な活動内容] 1) これまでの囲碁の経験をもとに、囲碁入門者に対する指導を考え検討する 2) 書籍やネット情報を参考にして、アセンブリⅠの囲碁班活動で入門者にルールや技を教える 3) 対局や指導の準備・検討を通して、コミュニケーション能力を高める 4) 機会があれば学外でのボランティア活動等に参加し、さまざま人と交流する中で意識の向上を図る
	[活動に参加することで得られるスキル（社会人基礎力）] 1) 囲碁の別称は手談である。対局などを通してコミュニケーション力と「考え抜く力」を養うことができる。 2) 仲間と協力しわかりやすい教材をつくり、入門者への指導を行うことで「教えること」の難しさを体験する。このことで、「前に踏み出す力」「チームで働く力」を養うことができる。
	[受け入れチーム数] ※ 5～8名／1チーム _____ 1 _____ チーム 【プロジェクト全体で _____ 8 _____ 名】
	[活動を予定している時間帯や日付など] 1) アセンブリⅠ 囲碁班に準ずる 2) 打ち合わせ等の日時は、その都度、話し合いによって決定
	[その他] 1) アセンブリⅠ 囲碁班所属学生を含む囲碁経験者を対象 2)Ⅰの活動場所では囲碁班主任・星野が指導